

森林保険通信



「樹種」について



森林保険業務システムでは、契約申込書の契約内訳情報の『樹種』については、右図のようにリストから選択するようになっています。

所有区分コード 私有林で個人所有
 保険金額コード F - 30 - 0
 分取割合/付保率 100 % / 30 %
 樹種
 見取り図アップロード
 換金額
 度 保険金額
 1

森林保険業務システム (契約申込書/契約内訳情報)

- スギ
- ヒノキ
- アテ
- ヒバ
- アスナロ
- その他針葉樹
- アカマツ・クロマツ
- カラマツ
- トドマツ
- その他広葉樹
- キリ
- クヌギ
- ナラ
- ケヤキ
- 対策スギ
- 対策ヒノキ



「エリートツリー」について

「エリートツリー」は、精英樹(優れた木として全国各地の人工造林地等から選ばれたもの)を親として育成した中から、成長や材質が優れたものとして選抜された、第2世代以降の精英樹です。

現在、スギ、ヒノキ、カラマツのエリートツリーが開発され、林業の省力化に向けて活用が始まっています。

エリートツリーで森林保険契約の申込書を作成する際は、該当する樹種を選択してください。

その他の樹種についても開発が進められています!



「抵抗性マツ」について

「抵抗性マツ (マツノザイセンチュウ抵抗性マツ)」は、マツ枯れの原因となる、マツノザイセンチュウに強いアカマツ、クロマツの品種です。

「にいがた千年松(新潟県)」、「パワーマツ(鳥取県)」、「筑前スーパークロマツ(福岡県)」、「天草スーパー松、ハイパーマツ黒(熊本県)」、「スーパーグリーンサツマ(鹿児島県)」(いずれもクロマツ)等の名称で供給されていることもあります。

申込書作成時は、【アカマツ・クロマツ】を選択してください。



「花粉症対策苗木」について

「花粉症対策苗木」は、国で定める「スギ花粉発生源対策推進方針」の花粉症対策品種のスギ・ヒノキ苗木、「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」に定める特定母樹から採取された種穂から生産されたスギ苗木等です。

森林保険では、「花粉症対策苗木」を植栽後、2年以内に初めて契約する場合に初年度の保険料の割引があります。該当する場合は、【対策スギ】【対策ヒノキ】を選択してください。

※【対策スギ】【対策ヒノキ】で林齢3年生以降を選択すると、
 ・花粉症対策苗木割引の条件が満たされていないため、花粉症対策苗木割引無しとして樹種を変更し再計算します。
 と表示され、樹種が【スギ】【ヒノキ】に修正されます。

林木育種センターが開発した花粉症対策苗木と特性が同程度のもので、都道府県が認めたスギ・ヒノキ花粉症対策苗木も割引の対象です。

筑波大学大学院生より、森林保険に関する研究内容をご報告いただきました



筑波大学大学院修士2年の菱田歩海さんは、学部生の頃から、研究対象としてはなかなか注目されることが少ない森林保険をテーマに研究をされてきました(私の後輩でもあります)。森林保険センターでは、平成30年度から研究に必要なデータ等を提供してきましたが、このたびその研究成果を修士論文にまとめ上げられましたので、森林保険センターの職員向けにオンラインでご報告いただきました。

今回、地域毎の加入率に差を生む要因についてアンケート調査等から分析した結果について発表されました。普段、私も契約データから様々な分析を行っているのですが、菱田さんは契約データだけでなく、森林保険の窓口となっている森林組合システムも含めた分析をされており、森林保険センターの中だけでは知り得ない内容が盛りだくさんで、興味深く拝聴しました。

菱田さんの発表を聞き、今後森林保険への加入を拡大していくには、森林組合システムの皆様のご協力が必要不可欠だと改めて感じました。私は新採1年目でまだまだですが、森林組合システムの皆さまと一緒に森林保険をより良いものにしていきたいと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

(保険推進課加入促進係 新井 紘嗣)

